

# 2027年度 大学院学生募集要項

工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

ロボティクス&デザイン工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

情報科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

知的財産研究科（専門職学位課程）

## ■一般入試

## ■社会人入試

### 【目次】

◆ 入試日程……………P. 1	◆ 入学手続時納入金、在学中の学費および委託徴収金…………P. 16
◆ 募集研究科・入学定員……………P. 1	◆ 大学院の概要……………P. 17
◆ 一般入試 （工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・ 情報科学研究科 博士前期課程/博士後期課程） P. 2	◆ 大学院の奨学金制度……………P. 23
◆ 社会人入試 （工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・ 情報科学研究科 博士前期課程）……………P. 7	◆ 長期履修制度 [知的財産研究科社会人のみ対象] ……P. 25
◆ 一般入試・社会人入試（知的財産研究科 専門職学位課程） ……P. 8	◆ 2027年度入試成績の開示について……………P. 26
◆ 出願手続……………P. 10	◆ 大学が取得する個人情報の保護について…………P. 26
◆ 受験票の交付……………P. 15	◆ お問い合わせ先……………P. 26
◆ 合格発表……………P. 15	◆ 宛名ラベル……………P. 27
◆ 入学手続……………P. 15	

出願期間が10月以降となる入試については、Web出願を予定しています。  
出願期間が近づきましたら、本学入試情報サイト内の「大学院入試願書ページ」にて出願および入学検定料納入方法に関する案内を掲載しますので、出願予定者は必ず内容を確認のうえ出願してください。

## アドミッション・ポリシー

本学入試情報サイト (<https://www.oit.ac.jp/admission/graduate/policy.html>) をご覧ください。

## 入試日程

研究科	入試種別	選考日	出願期間	合格発表日	入学手続期間
工学研究科 ロボティクス&デザイン工学研究科 情報科学研究科	第1回 一般入試 社会人入試	2026年 7月4日(土)	2026年 6月15日(月) ～6月19日(金) 【締切日消印有効】	2026年 7月17日(金)	1次・一括手続 2026年9月10日(木) ～9月25日(金) 2次手続 2027年2月26日(金) ～3月24日(水)
	第2回 一般入試 社会人入試	2027年 2月13日(土)	2027年 1月18日(月) ～1月22日(金) 【締切日消印有効】	2027年 2月22日(月)	一括手続 2027年2月22日(月) ～3月24日(水)
知的財産研究科	第1回 一般入試 社会人入試	2026年 7月4日(土)	2026年 6月15日(月) ～6月19日(金) 【締切日消印有効】	2026年 7月17日(金)	1次・一括手続 2026年9月10日(木) ～9月25日(金) 2次手続 2027年2月26日(金) ～3月24日(水)
	第2回 一般入試 社会人入試	2026年 10月24日(土)	2026年 10月5日(月) ～10月9日(金) 【締切日消印有効】	2026年 11月6日(金)	1次・一括手続 2026年11月6日(金) ～11月17日(火) 2次手続 2027年2月26日(金) ～3月24日(水)
	第3回 一般入試 社会人入試	2027年 2月13日(土)	2027年 1月18日(月) ～1月22日(金) 【締切日消印有効】	2027年 2月22日(月)	一括手続 2027年2月22日(月) ～3月24日(水)
	第4回 一般入試 社会人入試	2027年 3月6日(土)	2027年 2月22日(月) ～2月26日(金) 【締切日消印有効】	2027年 3月13日(土)	一括手続 2027年3月13日(土) ～3月24日(水)

## 募集研究科・入学定員

研究科	専攻	課程	入学定員	
工学研究科	建築・都市デザイン工学専攻	博士前期課程	30人	
	電気電子・機械工学専攻		50人	
	化学・環境・生命工学専攻		30人	
	合計			110人
	建築・都市デザイン工学専攻	博士後期課程	2人	
	電気電子・機械工学専攻		2人	
	化学・環境・生命工学専攻		2人	
合計			6人	
ロボティクス&デザイン工学研究科	ロボティクス&デザイン工学専攻	博士前期課程	30人	
		博士後期課程	2人	
情報科学研究科	情報科学専攻	博士前期課程	40人	
		博士後期課程	5人	
知的財産研究科	知的財産専攻	専門職学位課程	30人	

## 一般入試

### (工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科 博士前期課程／博士後期課程)

#### 1. 出願資格

課程	出 願 資 格
博士前期課程	<p>次の各項のいずれかに該当する者 ただし、第2回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日本国内の大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者（法第102条）</li> <li>②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込みの者（施行規則第155条第1項第1号）</li> <li>③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第2号）</li> <li>④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第3号）</li> <li>⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第4号）</li> <li>⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号の2）</li> <li>⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第5号）</li> <li>⑧旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）</li> <li>⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）</li> <li>⑩本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で22歳に達した者および2027年3月までに達する者（施行規則第155条第1項第8号）</li> </ul>
博士後期課程	<p>次の各項のいずれかに該当する者 ただし、第2回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①修士の学位や専門職学位を有する者および2027年3月までに取得見込みの者（法第102条第1項）</li> <li>②外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込みの者（施行規則第156条第1号）</li> <li>③外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込みの者（施行規則第156条第2号）</li> <li>④我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込みの者（施行規則第156条第3号）</li> <li>⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込みの者（施行規則第156条第4号）</li> <li>⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者（平成元年文部省告示第118号）</li> <li>⑦本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で24歳に達した者および2027年3月までに達する者（施行規則第156条第6号）</li> </ul>

法：学校教育法

施行規則：学校教育法施行規則

## 2. 選考日時・場所

区分	研究科	日時		場所
第 1 回	工学研究科	2026 年 7 月 4 日(土)	10:00～	大宮キャンパス
	ロボティクス&デザイン工学研究科			梅田キャンパス
	情報科学研究科			博士前期課程 9:30～ 博士後期課程 10:00～
第 2 回	工学研究科	2027 年 2 月 13 日(土)	10:00～	大宮キャンパス
	ロボティクス&デザイン工学研究科			梅田キャンパス
	情報科学研究科			博士前期課程 9:30～ 博士後期課程 10:00～

- 【備考】1. 当日、選考開始 20 分前までに受験票に記載された場所に集合してください。  
選考開始時刻から 30 分以上遅刻した場合は、受験を許可しません。  
※選考室等の詳細は、当日掲示により案内する場合があります。
2. 選考会場となるキャンパスの所在地は本学 Web サイトで確認してください。  
<https://www.oit.ac.jp/oit/access/>
3. 公共交通機関の延着や事故により選考開始時刻までに到着できない場合は、入試部 (06-6954-4086) に連絡してください。
4. 工学研究科建築・都市デザイン工学専攻[建築学コース]博士前期課程<構造系・生産系・環境系>については、選考開始時刻を 12:50 からとします。選考開始 20 分前までに集合してください。
5. 工学研究科電気電子・機械工学専攻[電気電子工学コース]博士後期課程については、面接試問開始時刻を 16:00 からとします。面接試問開始 20 分前までに集合してください。

## 3. 選考方法

次の各項を総合して選考のうえ、合格者を決定します。

課程	選考項目
博士前期課程	<p>①学科試験 (P. 4～6 参照)</p> <p>②面接試問 ※工学研究科化学・環境・生命工学専攻[生命工学コース]については、大学院で希望する研究テーマに関する 5 分程度の口頭発表を課すことがある。</p> <p>③書類審査 (調査書、最終学歴の学業成績証明書、英語外部資格試験の成績) ※ロボティクス&amp;デザイン工学研究科ロボティクス&amp;デザイン工学専攻[ロボティクスコース]については調査書を除く。</p>
博士後期課程	<p>①面接試問 ※1 工学研究科建築・都市デザイン工学専攻[建築学コース]については、博士前期課程あるいは現職務内容での研究内容と、博士後期課程で行う予定の研究内容に関する資料を持参し、プレゼンテーション (15 分程度) を行うこと。資料の仕様は任意とする。 ※2 工学研究科電気電子・機械工学専攻[電気電子工学コース]については、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で行う予定の研究内容について資料を持参し、プレゼンテーション (20 分) を行うこと。資料の仕様は任意とする。 ※3 工学研究科電気電子・機械工学専攻[機械工学コース]および化学・環境・生命工学専攻[生命工学コース]については、大学院で希望する研究テーマに関する 15 分程度の口頭発表を課すことがある。 ※4 [情報科学研究科]については、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で行う予定の研究内容のプレゼンテーション (20 分) を行うこと。</p> <p>②書類審査 (調査書、最終学歴の学業成績証明書) ※1 必要により筆記試験を行うことがある。 ※2 ロボティクス&amp;デザイン工学研究科ロボティクス&amp;デザイン工学専攻[ロボティクスコース]については調査書を除く。</p>

研究科	専攻	コース	専修分野	午 前	午 後	
工 学 研 究 科	建 築 ・ 都 市 デ ザ イ ン 工 学	建 築 学	構造系	/	<b>建築の基礎学力試験[配点：100点]</b> /12:50～13:30 <b>専門試験[配点：300点]</b> /13:40～15:40 (建築史、建築計画、都市計画、建築環境工学、建築材料、建築構造、構造力学A、構造力学Bの8科目のうち3科目選択) ※出願時に選択分野を指定すること。 <b>面接試験【試験終了後実施】</b>	
			生産系			
			環境系			
		計画系	<b>建築設計[配点：100点]</b> /10:00～12:00	<b>建築の基礎学力試験[配点：100点]</b> /12:50～13:30 <b>専門試験[配点：200点]</b> /13:40～15:00 (建築史、建築計画、都市計画、建築環境工学、建築材料、建築構造、構造力学A、構造力学Bの8科目のうち2科目選択) ※出願時に選択分野を指定すること。 <b>面接試験【試験終了後実施】</b>		
		英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC I Pテストの得点で評価する。ただし、I Pテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。 [配点：100点]。(P.2出願資格①のうち2027年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院入試実施日まで、その他の出願資格による者は大学院入試実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)				
	都市デザイン工学	<b>専門試験[配点：300点]</b> /10:00～12:00 (景観工学、計画学、構造力学、建設材料学・鉄筋コンクリート工学、土質力学、水理学の6科目のうち3科目選択すること。ただし、大学院研究指導教員が専門とする科目は必ず選択すること。) ※関数電卓を必ず持参すること	<b>小論文[配点：100点]</b> /13:00～14:00 <b>面接試験【試験終了後実施】</b>			
	英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC I Pテストの得点で評価する。ただし、I Pテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。 [配点：100点]。(P.2出願資格①のうち2027年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院入試実施日まで、その他の出願資格による者は大学院入試実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)					
	電 気 電 子 ・ 機 械 工 学	電 気 電 子 工 学	<b>電磁気学[配点：50点]</b> /10:00～10:40 <b>電気回路[配点：50点]</b> /10:40～11:20 <b>電子回路[配点：50点]</b> /11:20～12:00	<b>電気数学[配点：50点]</b> /13:00～13:40 <b>面接試験[配点：50点]</b> /14:30～		
			英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC I Pテストの得点で評価する。ただし、I Pテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。 [配点：50点]。(P.2出願資格①のうち2027年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院入試実施日まで、その他の出願資格による者は大学院入試実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)			
		機 械 工 学	<b>機械工学専門試験[配点：400点]</b> /10:00～12:00 (材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の4科目から出題し、それぞれの力学分野の配点は100点、合計400点とする。また、関数電卓を必ず持参すること)	<b>面接試験[配点：100点]</b> /13:00～		
英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC I Pテストの得点で評価する。ただし、I Pテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。 [配点：100点]。(P.2出願資格①のうち2027年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院入試実施日まで、その他の出願資格による者は大学院入試実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)						

研究科	専攻	コース	午 前	午 後
工 学 研 究 科	化学 ・ 環境 ・ 生命工学	応用化学	<b>化学英語[配点：50点]</b> ／10：00～11：00	<b>基礎化学[配点：200点]</b> ／13：00～14：30 （無機化学、有機化学、物理化学、 の3分野のうち2分野選択） ※関数電卓を必ず持参すること <b>面接試問【試験終了後実施】</b>
			英語試験は、化学英語の学科試験の他にTOEIC公開テスト、TOEIC IPテスト、TOEFL (iBT)、あるいはIELTSの得点・スコアでも評価する。ただし、IPテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。[配点：50点]。(P.2出願資格①のうち2027年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院入試実施日まで、その他の出願資格による者は大学院入試実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)	
		環境工学	<b>環境工学の基礎[配点：40点]</b> ／10：00～11：00 「環境量論基礎」、「エネルギー基礎Ⅰ」、「反応工学Ⅰ」、および「環境化学Ⅰ」より出題 ※関数電卓を必ず持参すること <b>応用分野[配点：40点]</b> ／11：20～12：20 「資源・エネルギー」、「都市代謝」、「自然共生」より選択 ※関数電卓を必ず持参すること	<b>面接試問[配点：40点]</b> ／13：20～
			英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する。ただし、IPテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。[配点：30点]。(P.2出願資格①のうち2027年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院入試実施日まで、その他の出願資格による者は大学院入試実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)	
		生命工学	<b>論述筆記[配点：150点]</b> ／10：00～11：30 必須2科目と選択3科目の計5科目 ・必須2科目（有機化学、生化学） ・選択3科目（次の9科目から選択：遺伝子工学、微生物学、人体生理学、生体システム工学、生体物性工学、エレクトロニクス、バイオメカニクス、食品化学工学、機能性食品学）	<b>面接試問[配点：100点]</b> ／13：00～
			英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する。ただし、IPテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。[配点：50点]。(P.2出願資格①のうち2027年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院入試実施日まで、その他の出願資格による者は大学院入試実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)	

研究科	専攻	コース	午 前	午 後
ロボティクス&デザイン工学研究科	ロボティクス&デザイン工学	ロボティクス	<b>論述筆記[配点：150点]</b> /10:00~12:00 必須科目：数学、制御工学、材料力学、機械力学、電気回路（全5科目） ※選択科目はありません	<b>面接試験[配点：100点]</b> <b>【論述筆記終了後実施】</b>
		システムデザイン	<b>論述筆記[配点：150点]</b> /10:00~12:00 必須1科目と選択2科目の合計3科目 必須1科目：数学 選択2科目：次の3科目から選択（制御工学、情報、電気回路）	<b>面接試験[配点：100点]</b> <b>【論述筆記終了後実施】</b>
		空間デザイン	<b>小論文[配点：100点]</b> /10:00~11:00 <b>専門科目[配点：200点]</b> /11:10~12:40 デザイン、建築(計画系)、建築(構造系)の3科目のうち1科目選択 ※出願時に選択科目を指定すること。	<b>面接試験[配点：100点]</b> <b>【試験終了後実施】</b>
			英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する。ただし、IPテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。 <b>[配点：100点]</b> 。 (TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点は、出願最終日からさかのぼって3年以内の最高得点とする)	
情報科学研究科	情報科学		<b>(1) 数学(微積分学・線形数学)[配点：30点]/9:30~10:20</b> <b>(2) 英語(出願時または試験当日に提出する TOEIC の成績による)[配点：30点]</b> ※TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する。ただし、IPテストはオンラインで受験して得られた得点は受け付けない。また、TOEICの得点は次の期間中の最高得点とする。 (P.2 出願資格①のうち2027年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院入試実施日まで、その他の出願資格による者は大学院入試実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)	
			<b>(3) プログラミング(C言語)[配点：30点]/10:35~11:15</b> <b>(4) 情報専門科目[配点：各20点、計60点]/11:30~13:10</b> 以下の5科目から3科目を選択し解答すること ①データ構造とアルゴリズム ②計算機アーキテクチャ ③オペレーティングシステム ④情報通信ネットワーク ⑤統計解析 各試験科目の内容については本学情報科学部のシラバスを参照すること。なお、学科によっては微積分学、線形数学、C言語、データ構造とアルゴリズムは各々「I」と「II」の2つの授業科目に分けて開講しているが、各試験科目ともこれらの両方を出题範囲とする。	
			<b>(5) 面接試験[配点：30点]/14:30~</b>	

## 社会人入試

### (工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科 博士前期課程)

#### 【社会人入試の趣旨】

向学心旺盛な社会人に対して、大学院教育を行うことを目的とする。その選考にあたっては、社会人としての経験度、および希望する研究分野等に重点をおいて行います。

#### 1. 出願資格

次の各項のいずれかに該当し、出願までに社会人として職を有した者。

ただし、第2回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。

なお、社会人としての業務内容・経験が、希望専攻分野に関連していることが望ましい。

- ①日本国内の大学を卒業した者（法第102条）
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（施行規則第155条第1項第1号）
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第2号）
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第3号）
- ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号の2）
- ⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者（施行規則第155条第1項第5号）
- ⑧旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- ⑩本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で22歳に達した者および2027年3月までに達する者（施行規則第155条第1項第8号）

法：学校教育法

施行規則：学校教育法施行規則

#### 2. 選考日時・場所

区分	研究科	日時	場所	
第1回	工学研究科	2026年7月4日(土)	10:00～	大宮キャンパス
	ロボティクス&デザイン工学研究科		9:30～	梅田キャンパス
	情報科学研究科		9:30～	枚方キャンパス
第2回	工学研究科	2027年2月13日(土)	10:00～	大宮キャンパス
	ロボティクス&デザイン工学研究科		10:00～	梅田キャンパス
	情報科学研究科		9:30～	枚方キャンパス

- 【備考】
1. 当日、選考開始20分前までに受験票に記載された場所に集合してください。選考開始時刻から30分以上遅刻した場合は、受験を許可しません。
  2. 選考会場となるキャンパスの所在地は本学Webサイトで確認してください。  
<https://www.oit.ac.jp/oit/access/>
  3. 公共交通機関の延着や事故により選考開始時刻までに到着できない場合は、入試部（06-6954-4086）に連絡してください。
  4. 工学研究科電気電子・機械工学専攻[電気電子工学コース]については、面接試問開始時刻を15:30からとします。面接試問開始20分前までに受験票に記載された場所に集合してください。

#### 3. 選考方法

次の各項を総合して選考のうえ、合格者を決定します。

選考項目
① 面接試問 ※工学研究科建築・都市デザイン工学専攻[建築学コース]および電気電子・機械工学専攻[機械工学コース]、化学・環境・生命工学専攻[応用化学コース]・[生命工学コース]については、現職務内容と大学院で希望する研究テーマに関する15分程度の口頭発表を課すことがある。
② 書類審査（最終学歴の学業成績証明書、業績書、出願理由書等） ※ 必要により基礎学力に関する検査を行うことがある。

## 一般入試・社会人入試（知的財産研究科 専門職学位課程）

入学者の選抜にあたっては、「学際的」という知的財産の特性を踏まえて、理工系・人文系・社会科学系といった大学での専攻を問わず、大学院での専門的な学びを遂行できる理解力と意欲を備えた者である限り、できるだけ多様な人材を受け入れられるようにしています。

### 1. 出願資格

#### 一般入試

次の各項のいずれかに該当する者

ただし、第3回および第4回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。

- ①日本国内の大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者（法第102条）
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込みの者（施行規則第155条第1項第1号）
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第2号）
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第3号）
- ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号の2）
- ⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第5号）
- ⑧旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- ⑩本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で22歳に達した者および2027年3月までに達する者（施行規則第155条第1項第8号）

#### 社会人入試

次の各項のいずれかに該当し、出願までに社会人として職を有した者

ただし、第3回および第4回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。

- ①日本国内の大学を卒業した者（法第102条）
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（施行規則第155条第1項第1号）
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第2号）
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第3号）
- ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号の2）
- ⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者（施行規則第155条第1項第5号）
- ⑧旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- ⑩本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で22歳に達した者および2027年3月までに達する者（施行規則第155条第1項第8号）

法：学校教育法

施行規則：学校教育法施行規則

## 2. 選考日時・場所

区 分	日 時	場 所
第 1 回	2026 年 7 月 4 日(土)	大宮キャンパス
第 2 回	2026 年 10 月 24 日(土)	
第 3 回	2027 年 2 月 13 日(土)	
第 4 回	2027 年 3 月 6 日(土)	

- 【備考】
1. 当日、選考開始 20 分前までに受験票に記載された場所に集合してください。  
選考開始時刻から 30 分以上遅刻した場合は、受験を許可しません。
  2. 選考会場となるキャンパスの所在地は本学 Web サイトで確認してください。  
<https://www.oit.ac.jp/oit/access/>
  3. 公共交通機関の延着や事故により選考開始時刻までに到着できない場合は、  
入試部（06-6954-4086）に連絡してください。
  4. 社会人の方において、仕事の関係で、選考日に都合がつかない場合は、選考日より前の日時に受  
験できる場合がありますので下記連絡先までご相談ください(第 3 回、第 4 回社会人入試のみ)。  
連絡先：知的財産研究科事務室 TEL. 06-6954-4163

## 3. 選考方法

### 一般入試・社会人入試

合否の判定は、面接試問（外国人留学生等で、選考日当日に来学できない場合は、オンラインによる面接も可とする）に加えて、書類審査（学業成績証明書等）により総合的に行います。

## 出願手続

出願期間が10月以降となる入試については、Web出願を予定しています。

出願期間が近づきましたら、本学入試情報サイト内の「大学院入試願書ページ」にて出願および入学検定料納入方法に関する案内を掲載しますので、出願予定者は必ず内容を確認のうえ出願してください。

大学院入試願書ページ <https://www.oit.ac.jp/admission/graduate/application.html>

### 1. 出願期間等

研究科	区分		出願期間	出願方法
工学研究科 ロボティクス& デザイン工学研究科 情報科学研究科	第1回	一般入試 社会人入試	2026年6月15日(月) ～6月19日(金)	【窓口】取扱時間 13:00～16:00 【郵送】出願期間最終日消印有効
	第2回		2027年1月18日(月) ～1月22日(金)	Web出願 (提出書類は郵送または窓口持参)
知的財産研究科	第1回	一般入試 社会人入試	2026年6月15日(月) ～6月19日(金)	【窓口】取扱時間 13:00～16:00 【郵送】出願期間最終日消印有効
	第2回		2026年10月5日(月) ～10月9日(金)	Web出願 (提出書類は郵送または窓口持参)
	第3回		2027年1月18日(月) ～1月22日(金)	Web出願 (提出書類は郵送または窓口持参)
	第4回		2027年2月22日(月) ～2月26日(金)	Web出願 (提出書類は郵送または窓口持参)

### 2. 事前相談

出願にあたっては、必ず入学後の修学等について教員と事前相談を行ってください。

研究科	相談先
工学研究科	希望するコース・専門領域・授業科目の大学院研究指導担当教員 (教員名等は工学研究科はP.18、ロボティクス&デザイン工学研究科はP.20、 情報科学研究科はP.21を参照)
ロボティクス& デザイン工学研究科	
情報科学研究科	

※知的財産研究科の出願にあたり、事前相談は必須ではありませんが、任意の事前相談を推奨しています。  
ただし社会人の方で長期履修制度(P.25～26参照)を利用される場合は必ず事前相談を行ってください。

事前相談	専攻	コース	事務室	電話番号	場所	
工学研究科	建築・ 都市デザイン工学	建築学	建築学科事務室	06-6954-4206	大宮キャンパス	2号館5階
		都市デザイン工学	都市デザイン工学科事務室	06-6954-4109		9号館2階
	電気電子・ 機械工学	電気電子工学	電気電子システム工学科事務室 電子情報システム工学科事務室	06-6954-4228 06-6954-4286		4号館4階
		機械工学	機械工学科事務室	06-6954-4248		1号館5階
	化学・ 環境・ 生命工学	応用化学	応用化学科事務室	06-6954-4268		10号館8階
		環境工学	環境工学科事務室	06-6954-4375		東学舎 2号館1階
		生命工学	生命工学科事務室	06-6954-4643		
ロボティクス& デザイン工学研究科	ロボティクス& デザイン工学	ロボティクス	ロボット工学科事務室 システムデザイン工学科事務室	06-6147-6512	梅田キャンパス	OIT梅田7- 12階
		システムデザイン		06-6147-7162		
	空間デザイン	空間デザイン学科事務室	06-6147-6558	OIT梅田7- 19階		
情報科学研究科	情報科学	情報科学部事務室	072-866-5301	072-866-5301	枚方キャンパス 1号館1階	
知的財産研究科	知的財産	知的財産研究科事務室	06-6954-4163	06-6954-4163	大宮キャンパス 1号館8階	

3. 出願書類と入学検定料【出願期間が10月以降となる入試については、一部の書類がWeb入力となります】

(1) 工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科 博士前期課程

【マークの見方】○：必要 △：該当者のみ必要 ×：不要

出 願 書 類	一般入試	社会人入試	注 意 事 項
志願票	○	○	・所定様式に自筆で正確に記入のうえ、事前相談を行った大学院研究指導教員に「事前相談確認印」欄に押印・署名してもらうこと ・写真1枚を貼付すること（裏面に氏名、志望専攻を記入） ※写真は、入学が許可された場合には、学生証用写真等に使用します。
受験票	○	○	所定様式に必要な事項を記入すること
写真票	○	×	裏面に氏名、志望専攻を記入した写真1枚を貼付すること
調査書	○	×	所定様式を使用のうえ、出身大学（学校）長が作成・厳封したもの ※本学学生の場合、工学部の学生は教務課、ロボティクス&デザイン工学部の学生はロボティクス&デザイン工学部事務室、情報科学部の学生は情報科学部事務室に発行を依頼すること※発行までの期間を考慮のうえ依頼すること ※ロボティクス&デザイン工学研究科ロボティクス&デザイン工学専攻ロボティクスコース志願者は提出不要
最終出身大学（学校）の 学業成績証明書	○	○	・出身大学（学校）長が作成・厳封したもの ・在学期間と在学全期間の学業成績が明記されていること
最終出身大学（学校）の 卒業（見込）証明書 または学士の学位授与 （申請予定）証明書	○	○	出身大学（学校）長または学位授与機構が作成・厳封したもの ※出願資格を満たす証明書
選択科目（分野）届出書	△	×	工学研究科 建築・都市デザイン工学専攻 博士前期課程 <b>建築学コース</b> または、ロボティクス&デザイン工学研究科ロボティクス&デザイン工学専攻 <b>空間デザインコース</b> 博士前期課程志願者のみ所定様式に必要な事項を記入すること
英語外部資格試験の成績を 証明するもの	○	×	■全研究科共通 スコアレポートの取得期限やオンライン受験の取扱いについては各コースの「学科試験・科目」ページ（P.4～6参照）で確認ください。 ■工学研究科・情報科学研究科 証明書類は <b>選考当日</b> にコピーを提出すること（拡大・縮小コピーでA4サイズにすること。選考当日、集合場所にて係の者に提出すること）。なお、選考当日に提出がない場合は未受験として扱う（英語外部資格試験による評価は0点となる）。 ■ロボティクス&デザイン工学研究科 TOEICスコア証明書類は <b>出願時</b> にコピーを提出すること（拡大・縮小コピーでA4サイズにすること）。なお、出願時に提出がない場合は未受験として扱う（英語外部資格試験による評価は0点となる）。
出願理由書	×	○	A4判タテ型用紙に800字以内で作成（様式は任意とするが、氏名は必ず明記）すること。なお、裏面および複数枚の使用も可とする。
業績書	×	○	A4判タテ型用紙に、志願者がこれまでに携わった業務の経過を記入すること（様式は任意とするが、氏名は必ず明記すること）
学費（入学金）減免願 （本学園設置大学および大学院の 卒業・修了者[見込者含む]のみ提出）	△	△	所定様式に必要な事項を記入すること

- 【備考】
1. 出願書類はいずれも**黒ボールペン**を用いて記入してください。
  2. 全ての出願書類は指定がある場合を除き、原本を提出してください（コピー不可）。
  3. 出願書類の一部が不足している場合や、必要事項の未記入などがある場合は出願の受付ができませんので注意してください。
  4. 婚姻等で証明書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。
  5. 提出された顔写真について、本人確認に支障をきたす著しい加工等が認められた場合は、再提出を求められることがあります。また、出願書類に虚偽・不正が認められた場合は、合格後であっても合格または入学許可を取り消すことがあります。

※上記書類に加えて、外国籍の方は以下の書類も提出してください。

- ・パスポートのコピー（氏名、パスポート番号、顔写真および有効期限の掲載されているページ）
- ・在留カード（両面のコピー）[日本国内居住者のみ]（裏面に何も記載がなくてもコピーをとること）
- ・経費支弁確認書【本学所定様式】
- ・日本語教育機関 在籍・出席状況証明書【本学所定様式】※日本語教育機関に在籍している者のみ提出

【マークの見方】○：必要 △：該当者のみ必要

出 願 書 類	一般入試	注 意 事 項
志願票	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定様式に自筆で正確に記入のうえ、事前相談を行った大学院研究指導教員に「事前相談確認印」欄に押印・署名してもらうこと</li> <li>・ 写真1枚を貼付すること（裏面に氏名、志望専攻を記入）</li> </ul> ※写真は、入学が許可された場合には、学生証用写真等に使用します。
受験票	○	所定様式に必要な事項を記入すること
調査書	○	所定様式を使用のうえ、出身大学長または大学院研究科長が作成・厳封したもの ※本学学生の場合、工学研究科の学生は教務課、ロボティクス&デザイン工学研究科の学生はロボティクス&デザイン工学部事務室、情報科学研究科の学生は情報科学部事務室に発行を依頼すること※発行までの期間を考慮のうえ依頼すること ※ロボティクス&デザイン工学研究科ロボティクス&デザイン工学専攻ロボティクスコース志願者は提出不要
出身大学（学部）の 学業成績証明書	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出身大学長が作成・厳封したもの</li> <li>・ 在学期間と在学全期間の学業成績が明記されていること</li> </ul>
出身大学院の 博士前期（修士）課程 または専門職学位課程 修了（見込）証明書	○	出身大学長または大学院研究科長が作成・厳封したもの ※出願資格を満たす証明書
出身大学院の博士前期 （修士）課程 または専門職学位課程 学業成績証明書	○	
修士論文の概要	○	A4判タテ型用紙に2,000字程度で作成（様式は任意とするが、氏名は必ず明記すること）。なお、裏面および複数枚の使用も可とする。
希望する研究の方向	○	A4判タテ型用紙に400字程度で作成（様式は任意とするが、氏名は必ず明記すること）。なお、裏面および複数枚の使用も可とする。
研究業績書・ポートフォリオ	△	工学研究科建築・都市デザイン工学専攻建築学コース志願者のみ、研究業績書（様式自由）またはポートフォリオ（様式自由）を提出すること。なお、歴史・意匠およびデザイン・計画分野志望者はポートフォリオを必須とする。両方提出も可。
学費（入学金）減免願 （本学園設置大学および大学院の 卒業・修了者〔見込者含む〕のみ提出）	△	所定様式に必要な事項を記入すること

- 【備考】
1. 出願書類はいずれも黒ボールペンを用いて記入してください。
  2. 全ての書類は指定がある場合を除き、原本を提出してください（コピー不可）。
  3. 出願書類の一部が不足している場合や写真の貼り忘れ、必要事項の未記入などがある場合は出願の受付ができませんのでご注意ください。
  4. 婚姻等で証明書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。
  5. 提出された顔写真について、本人確認に支障をきたす著しい加工等が認められた場合は、再提出を求められることがあります。また、出願書類に虚偽・不正が認められた場合は、合格後であっても合格または入学許可を取り消すことがあります。

※上記書類に加えて、外国籍の方は以下の書類も提出してください。

- ・ パスポートのコピー（氏名、パスポート番号、顔写真および有効期限の掲載されているページ）
- ・ 在留カード（両面のコピー）〔日本国内居住者のみ〕（裏面に何も記載がなくてもコピーをとること）
- ・ 経費支弁確認書【本学所定様式】
- ・ 日本語教育機関 在籍・出席状況証明書【本学所定様式】※日本語教育機関に在籍している者のみ提出

## (3) 知的財産研究科（専門職学位課程）

【マークの見方】○：必要 △：該当者のみ必要 ×：不要

出願書類	一般入試	社会人入試	注 意 事 項
志願票	○	○	・ 所定様式に自筆で正確に記入すること ・ 写真1枚を貼付すること（裏面に氏名、志望専攻を記入） ※写真は、入学が許可された場合には、学生証用写真等に使用します。
受験票	○	○	所定様式に必要な事項を記入すること
最終出身大学（大学院・学校）の学業成績証明書	○	○	・ 出身大学（学校）長が作成・厳封したもの ・ 在学期間と在学全期間の学業成績が明記されていること
最終出身大学（大学院・学校）の卒業（見込）証明書 または学士の学位授与（申請予定）証明書	○	○	出身大学（学校）長または学位授与機構が作成・厳封したもの ※出願資格を満たす証明書
小論文（エッセイ）	○	○	次の課題1または2のいずれかを選択し、3,000字程度の小論文（エッセイ）を作成すること（A4用紙縦向き・横書きとし、冒頭に選択した課題番号と氏名を記入すること。記述はパソコン等での入力または手書きのいずれでもよい。） ●課題1：知的財産に関しあなたが関心をもったテーマをひとつ取り上げて、①そのテーマの概要、②関心を持った理由、③そのテーマについてのあなたの考えなどを記述してください。 ●課題2：本大学院での知的財産に関する学修を通じて何を身に付け、その成果を自身の中長期的なキャリアにどのように活用したいと考えているかを、その理由とともに具体的に記述してください。
業績書	×	○	志願者がこれまでに携わった業務の経過をA4用紙に記入すること。なお、裏面および複数枚の使用およびパソコンでの作成を可とする。
学費（入学金）減免願 （本学園設置大学および大学院の卒業・修了者[見込者含む]のみ提出）	△	△	所定様式に必要な事項を記入すること

- 【備考】1. 出願書類はいずれも黒ボールペンを用いて記入してください。  
2. 全ての書類は指定がある場合を除き、原本を提出してください（コピー不可）。  
3. 出願書類の一部が不足している場合や写真の貼り忘れ、必要事項の未記入などがある場合は出願の受付ができませんのでご注意ください。  
4. 婚姻等で証明書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。  
5. 提出された顔写真について、本人確認に支障をきたす著しい加工等が認められた場合は、再提出を求めることがあります。また、出願書類に虚偽・不正が認められた場合は、合格後であっても合格または入学許可を取り消すことがあります。

※上記書類に加えて、外国籍の方は以下の書類も提出してください。

- ・ パスポートのコピー（氏名、パスポート番号、顔写真および有効期限の掲載されているページ）
- ・ 在留カード（両面のコピー）[日本国内居住者のみ]（裏面に何も記載がなくてもコピーをとること）
- ・ 経費支弁確認書【本学所定様式】
- ・ 日本語教育機関 在籍・出席状況証明書【本学所定様式】※日本語教育機関に在籍している者のみ提出

4. 入学検定料および納入方法【出願期間が10月以降となる入試については、オンライン決済となります】

(1) 入学検定料：30,000円

(2) 納入方法

本学所定の電信(テレ扱)振込依頼票(志願票と一連のもの)に必要な事項を記入のうえ、切り離さずに金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口で納入してください(手数料必要。ただし、振込依頼票に記載の銀行本・支店から振り込む場合は手数料不要です)。振り込み手続き後、「志願票」「入学検定料振込金受領書」を受け取り、それぞれに収納印が押印されていることを確認してください。なお、一旦納入された入学検定料は試験を欠席した場合でも返戻しません。

金融機関の窓口で、金融機関備え付けの振込依頼票に書き替えを求められた場合は、次の点に注意してください。

- 【注意】
1. 必ず電信(テレ扱)振込の用紙を使用し、必要事項を正確に記入してください。
  2. 振込先銀行、預金種目、口座番号は本学所定の「振込依頼票」に記載の2銀行のうち1銀行を選び、間違いないよう記入してください。
  3. 志願者氏名フリガナ欄には、振込依頼票に記載の整理番号10桁を氏名の前に必ず記入し、打電するように金融機関に依頼してください。また、「志願票」「入学検定料振込金受領書」にも必ず収納印を受けてください。入学検定料振込金受領書は志願者本人が保管してください。

5. 出願方法

(1) 窓口出願

入学検定料を振り込みした後、出願期間内に出願書類を一括して次の窓口へ持参してください。なお、入学検定料を現金で納入することはできません。

研究科	場 所	取 扱 時 間
工 学 研 究 科	入試部 (大宮キャンパス 8号館 2階)	13:00~16:00
ロボティクス&デザイン 工 学 研 究 科	入試部 (大宮キャンパス 8号館 2階) または ロボティクス&デザイン工学部事務室 (梅田キャンパス 7階)	
情 報 科 学 研 究 科	入試部 (大宮キャンパス 8号館 2階) または 情報科学部事務室 (枚方キャンパス 1号館 1階)	
知 的 財 産 研 究 科	入試部 (大宮キャンパス 8号館 2階)	

(2) 郵送出願

入学検定料を振り込みした後、出願書類を一括して市販の封筒に入れ、P.27の「宛名ラベル」を印刷して封筒表面に貼付し、入試部まで簡易書留速達にて郵送してください(締切日消印有効)。

6. その他

(1) 身体に障がいのある方の受験について

身体に障がいがある方など、受験時や入学後の修学等において特別な配慮が必要な場合は、出願に先立ち入試部にご相談ください。相談申し出期限は下表のとおりです。なお、診断書の提出を求められる場合があります。

(2) 個別の入学資格審査について

各試験における工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科の博士前期課程の出願資格⑩および博士後期課程の出願資格⑥、⑦ならびに知的財産研究科の出願資格⑩により出願する場合、出願に先立ち入試部に申し出てください。個別の入学資格審査の要領をお知らせします。申し出期限は下表のとおりですが、できるだけ早めにご連絡ください。

【(1)・(2)共通申し出期限】

研究科	入 試 区 分	申 し 出 期 限
全 研 究 科	第1回一般入試・社会人入試	2026年 6月 5日(金)
知 的 財 産 研 究 科	第2回一般入試・社会人入試	2026年 9月 18日(金)
工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科	第2回一般入試・社会人入試	2027年 1月 8日(金)
知 的 財 産 研 究 科	第3回一般入試・社会人入試	
知 的 財 産 研 究 科	第4回一般入試・社会人入試	2027年 1月 29日(金)

(3) 感染症に関する注意

選考日当日、学校保健安全法施行規則で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス等)に罹患し治癒していない場合、他の受験者等に感染する恐れがありますので、原則として受験をご遠慮ください。

上記に該当する場合は、選考日当日までに本学入試部にご連絡ください。

## 受験票の交付

出願書類の受付が完了次第、郵送します。なお、選考日の3日前までに受験票が届かない場合は入試部までお問い合わせください。

なお、出願期間が10月以降となる入試については、Web出願を予定しています。

出願期間が近づきましたら、本学入試情報サイト内の「大学院入試願書ページ」にて受験票交付に関する案内を掲載しますので、出願予定者は必ず内容を確認のうえ出願してください。

大学院入試願書ページ <https://www.oit.ac.jp/admission/graduate/application.html>

## 合格発表

研究科	入試区分	合格発表日
全 研 究 科	第1回一般入試・社会人入試	2026年7月17日(金)
知的財産研究科	第2回一般入試・社会人入試	2026年11月6日(金)
工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科	第2回一般入試・社会人入試	2027年2月22日(月)
知的財産研究科	第3回一般入試・社会人入試	
知的財産研究科	第4回一般入試・社会人入試	2027年3月13日(土)

【備考】1. 受験者全員に速達郵便で可否を通知します(欠席者には送付しません)。

2. 掲示による合格発表は行いません。また、可否についての問い合わせには一切応じられません。

3. 合格発表日から3日以上経って通知が届かない場合は、入試部までお問い合わせください。

なお、問い合わせの際には、手元に受験票を用意してできる限り本人が連絡してください。

4. 出願期間が10月以降となる入試については、Web出願を予定しています。出願期間が近づきましたら、本学入試情報サイト内の「大学院入試願書ページ」にて合格発表に関する案内を掲載しますので、出願予定者は必ず内容を確認のうえ出願してください。

大学院入試願書ページ <https://www.oit.ac.jp/admission/graduate/application.html>

## 入学手続

### 1. 入学手続期間

研究科	入試区分	入学手続期間
全 研 究 科	第1回一般入試・社会人入試	1次・一括手続 2026年9月10日(木)～9月25日(金) 2次手続 2027年2月26日(金)～3月24日(水)
知的財産研究科	第2回一般入試・社会人入試	1次・一括手続 2026年11月6日(金)～11月17日(火) 2次手続 2027年2月26日(金)～3月24日(水)
工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科	第2回一般入試・社会人入試	一括手続 2027年2月22日(月)～3月24日(水)
知的財産研究科	第3回一般入試・社会人入試	
知的財産研究科	第4回一般入試・社会人入試	一括手続 2027年3月13日(土)～3月24日(水)

### 2. 入学手続方法

納入方法	納 入 額	そ の 他
1次手続	入学金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定の入学手続期間内に入学手続時納入金を納入し、入学手続UCARO登録を行ってください。</li> <li>※UCARO登録については「入学手続案内」で詳細をお知らせします。</li> <li>・ 入学手続の詳細な内容については、合格発表の際に合格者に対してお知らせします。</li> <li>・ それぞれの入学手続期間内に手続きを完了しない場合は、入学することができません。</li> </ul>
2次手続	以下の合計額 ・ 授業料(前期分) ・ 教育充実費(知的財産研究科のみ・前期分) ・ 委託徴収金	
一括手続	以下の合計額 ・ 入学金 ・ 授業料(前期分) ・ 教育充実費(知的財産研究科のみ・前期分) ・ 委託徴収金	

### 3. 入学辞退

一旦、納入した入学時納入金および提出した入学書類は返戻しません。

ただし、納入後、やむを得ない理由で入学辞退を希望する者が、下記の入学辞退届出期限日時までに「入学辞退届」と「納入金領収書」を同封のうえ、本学入試部に送付または持参した場合に限り、入学金相当額を除いた入学時納入金を返戻します。

なお、入学金および入学書類については、下記の入学辞退届出期限日時までに入学辞退の手続をされた場合でも返戻しません。

- 【注意】
1. 「入学辞退届」の本学への着信または提出が下記の入学辞退届出期限日時を過ぎた場合は入学時納入金（委託徴収金を含む）の返戻はできません。
  2. 詳細については、「入学時納入金」にてお知らせします。

入学辞退期限：2027年3月31日（水）17：00（本学必着または提出）

### 入学時納入金、在学中の学費および委託徴収金

#### ■学費

（単位：円）

研究科	項目	1年次所要経費		2年次以降 所要経費（年額）	
		入学時納入金	10月納入		
工学研究科 ロボティクス&デザイン工学研究科 情報科学研究科	博士前期課程 学費	入学金	150,000	—	—
		授業料	510,000	510,000	1,020,000
		合計	660,000	510,000	1,020,000
	博士後期課程 学費	入学金	220,000	—	—
		授業料	480,000	480,000	960,000
		合計	700,000	480,000	960,000
知的財産研究科 専門職学位課程	学費	入学金	200,000	—	—
		授業料	615,000	615,000	1,230,000
		教育充実費	60,000	60,000	120,000
	合計	875,000	675,000	1,350,000	

#### ■委託徴収金

（単位：円）

研究科	項目	1年次所要経費	2年次以降
		入学時納入金	所要経費（年額）
全研究科	振興費	10,000	10,000
	学生互助会費	3,700	3,200
	合計	13,700	13,200

振興費：大阪工業大学後援会、大阪工業大学校友会等に対する援助費です。

学生互助会費：全学生による相互扶助の精神に基づく健康保持および福利向上を目的とする医療費給付等のための会費です。

- 【備考】
1. 消費税は課されません。
  2. 上記の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがあります。
  3. 知的財産研究科を対象とした長期履修制度があります。長期履修許可後の入学時納入金および在学中の学費等についてはP. 25をご確認ください。
  4. 本学園設置大学および大学院の卒業・修了（見込）者で出願時に「学費（入学金）減免願」を提出し、許可された場合は、入学金の半額が免除されます。
  5. 本学園設置大学から引き続き大学院に入学する者の学生互助会費については、3,200円となります。

## 大学院の概要

本大学院には工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科・知的財産研究科を設置しています。

＜工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科の目的＞

学部の教育の基礎の上に学術の理論およびその応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与すること

＜知的財産研究科の目的＞

学術の理論およびその応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培うこと

### 1. 沿革

本学 Web サイト大学紹介ページをご覧ください。

### 2. 工学研究科の概要

工学研究科には下表の 3 専攻があり、各専攻に博士課程を設置しています。

博士課程は前期 2 年の課程と後期 3 年の課程に区別され、前期 2 年の博士前期課程は修士課程として取り扱っています。

専攻	修業年限	課 程	
		2 年	3 年
建 築 ・ 都 市 デ ザ イ ン 工 学		博士前期課程	博士後期課程
電 気 電 子 ・ 機 械 工 学			
化 学 ・ 環 境 ・ 生 命 工 学			

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養います。

博士後期課程は、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養います。

### ◇学位の取得および修了要件

#### ●博士前期課程

本大学院に 2 年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、工学研究科委員会の議を経て修士（工学）の学位が授与されます。ただし、優れた業績をあげた者の在学期間に関しては、本大学院当該博士前期課程に 1 年以上在学すれば足りるものとします。また、当該博士前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができます。

#### (1) 課程修了の要件：下表の要件を充足すること

所属専攻の授業科目（注）	30 単位
修 士 論 文 の 審 査	合 格
最 終 試 験	
大 学 院 に 2 年 以 上 在 学	

（注）大学院研究指導教員が認めた場合、他専攻授業科目 4 単位まで選択科目として認めます。  
記載の内容は 2026 年度のものであります。

#### (2) 研究指導

当該専攻の指示に従って、指定された分野の中から 1 分野を選定し、これを自己の専修分野とします。

#### (3) 教育職員免許状の取得

博士前期課程に教職課程を設けており、次の要件を満たせば、『工業』の高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

- ① 博士前期課程を修了すること。
- ② 出身大学等において高等学校教諭一種免許状（工業）を取得する要件を充足していること。
- ③ 出身大学等において「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」ならびに「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に相当する授業科目の単位を各区分から 2 単位以上修得していること。
- ④ 大学院において所属専攻の所定科目から最低 24 単位を修得すること。

●博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ、必要な指導のもとに研究業績をあげたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、工学研究科委員会の議を経て博士（工学）の学位が授与されます。ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間に関しては博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

課程修了の要件：下表の要件を充足すること

所属専攻の授業科目（注）	12単位
博士論文の審査 最終試験	合格
大学院に5年以上在学（博士前期課程修了者は、その在学期間2年を含む）	

（注）記載の内容は2026年度のものであります。

◇2027年度大学院研究指導担当教員一覧

●博士前期課程

研究科	専攻	コース	教員氏名
工学研究科	建築・都市デザイン 工学	建築学	河野 良坪、寺地 洋之、本田 昌昭、馬場 望、吉田 哲、中村 成春、向出 静司、岡山 敏哉、水島 あかね、権 淳日、藤井 伸介
		都市デザイン工学	井上 晋、田中 一成、大山 理、三方 康弘、日置 和昭、山口 行一、東 良慶、今川 雄亮、西堀 泰英
	電気電子・機械工学	電気電子工学	内部 英治、奥 宏史、加瀬 渡、神村 共住、金城 良太、熊本 和夫、小池 一步、小山 政俊、重弘 裕二、周 虹、眞銅 雅子、杉本 靖博、田熊 隆史、廣芝 伸哉、藤井 彰彦、藤村 真生、藤元 章、前元 利彦、又吉 秀仁、松野 文俊、見市 知昭、森實 俊充、安國 良平、吉田 恵一郎、吉村 勉
		機械工学	上田 整、西川 出、上辻 靖智、羽賀 俊雄、桑原 一成、宮部 正洋、山浦 真一、牛田 俊、吉田 準史、橋本 智昭、伊與田 宗慶、鶴飼 孝博、原口 真、横山 奨、松井 翔太
	化学・環境・生命工学	応用化学	村岡 雅弘、森内 隆代、藤井 秀司、東本 慎也、下村 修、村田 理尚、大高 敦、小林 正治、平井 智康、平原 将也
		環境工学	渡邊 信久、笠原 伸介、古崎 康哲、高山 成、河村 耕史、平郡 諭、日下部 武敏、加賀田 翔、粟田 貴宣
		生命工学	芦高 恵美子、川原 幸一、藤里 俊哉、胡 迪、中村 友浩、宇戸 禎仁、外波 弘之、長森 英二、崎山 亮一、大森 勇門、藤田 英俊、西脇 雅人、石道 峰典

（注）上記の記載内容は2027年度予定のものですが、変更になる場合があります。

●博士後期課程

研究科	専攻	コース	教員氏名
工学研究科	建築・都市デザイン 工学	建築学	寺地 洋之、本田 昌昭、馬場 望、吉田 哲、中村 成春、河野 良坪、向出 静司、水島 あかね
		都市デザイン工学	井上 晋、田中 一成、大山 理、三方 康弘、日置 和昭、山口 行一
	電気電子・機械工学	電気電子工学	奥 宏史、加瀬 渡、神村 共住、熊本 和夫、小池 一步、重弘 裕二、周 虹、杉本 靖博、田熊 隆史、原嶋 勝美、藤井 彰彦、前元 利彦、松野 文俊、見市 知昭、森實 俊充、吉田 恵一郎、吉村 勉
		機械工学	上田 整、西川 出、上辻 靖智、羽賀 俊雄、桑原 一成、宮部 正洋、牛田 俊、吉田 準史、橋本 智昭、山浦 真一
	化学・環境・生命工学	応用化学	村岡 雅弘、森内 隆代、藤井 秀司、東本 慎也、下村 修
		環境工学	渡邊 信久、笠原 伸介、古崎 康哲、高山 成
		生命工学	芦高 恵美子、川原 幸一、藤里 俊哉、松村 潔、中村 友浩、宇戸 禎仁、長森 英二

（注）上記の記載内容は2027年度予定のものですが、変更になる場合があります。

### 3. ロボティクス&デザイン工学研究科の概要

ロボティクス&デザイン工学研究科にはロボティクス&デザイン工学専攻があり、博士課程を設置しています。博士課程は前期2年の課程と後期3年の課程に区別され、前期2年の博士前期課程は修士課程として取り扱っています。

専攻	修業年限	課 程	
		2 年	3 年
ロボティクス&デザイン工学		博士前期課程	博士後期課程

博士前期課程は、工学的な知識・技術を人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与する高度専門職業人材を育成します。

博士後期課程は、工学的な知識・技術を人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与するイノベーションリーダーを養成します。

#### ◇学位の取得および修了要件

##### ●博士前期課程

本大学院に2年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、ロボティクス&デザイン工学研究科委員会の議を経て修士（工学）の学位が授与されます。

ただし、優れた業績をあげた者の在学期間に関しては、本大学院当該博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとします。また、当該博士前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができます。

#### (1) 課程修了の要件：下表の要件を充足すること

所属専攻の授業科目（注）	30 単位
修士論文の審査	合 格
最終試験	
大 学 院 に 2 年 以 上 在 学	

（注）記載の内容は2026年度のものであります。

#### (2) 教育職員免許状の取得

博士前期課程に教職課程を設けており、次の要件を満たせば、『工業』の高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

- ①博士前期課程を修了すること。
- ②出身大学等において高等学校教諭一種免許状（工業）を取得する要件を充足していること。
- ③出身大学等において「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」ならびに「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に相当する授業科目の単位を各区分から2単位以上修得していること。
- ④大学院において所属専攻の所定科目から最低24単位を修得すること。

##### ●博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ、必要な指導のもとに研究業績をあげたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、ロボティクス&デザイン工学研究科委員会の議を経て博士（工学）の学位が授与されます。ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間に関しては博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

#### 課程修了の要件：下表の要件を充足すること

所属専攻の授業科目（注）	12 単位
博士論文の審査	合 格
最終試験	
大学院に5年以上在学（博士前期課程修了者は、その在学期間2年を含む）	

（注）記載の内容は2026年度のものであります。

◇2027 年度大学院研究指導担当教員一覧

●博士前期課程

研究科・専攻	コース	教員氏名
ロボティクス&デザイン 工学研究科 ロボティクス&デザイン 工学専攻	ロボティクス	井上 雄紀、大須賀 公一、河合 俊和、倉前 宏行、谷口 浩成、 野田 哲男、廣井 富、吉川 雅博、姜 長安、東 善之
	システムデザイン	井上 明、井上 剛、小林 裕之、中山 学之、小野山 博之、瀬尾 昌孝、 中泉 文孝、横山 広充
	空間デザイン	白髪 誠一、西應 浩司、福原 和則、益岡 了、中村 卓、増岡 亮、 山本 麻子

(注) 上記の記載内容は 2027 年度予定のものですが、変更になる場合があります。

●博士後期課程

研究科・専攻	コース	教員氏名
ロボティクス&デザイン 工学研究科 ロボティクス&デザイン 工学専攻	ロボティクス	井上 雄紀、大須賀 公一、河合 俊和、倉前 宏行、谷口 浩成、 野田 哲男、廣井 富、吉川 雅博
	システムデザイン	井上 明、井上 剛、小林 裕之、中山 学之
	空間デザイン	白髪 誠一、西應 浩司、福原 和則、益岡 了

(注) 上記の記載内容は 2027 年度予定のものですが、変更になる場合があります。

4. 情報科学研究科の概要

博士前期課程（修業年限 2 年）は、情報技術を基盤として社会や企業活動の変革を実現するために、創造的な能力に富んだ国際的に通用する情報プロフェッショナルを育成します。そのため「情報基礎」、「情報専門」、「実習」、「研究」の各領域を設けてカリキュラムを編成しています。博士後期課程（修業年限 3 年）は、情報科学分野の第一線で活躍できる優れた研究者、ならびに高度専門職業人を養成することを目的として、5 つの専門領域を設けています。

- 1) 情報システム・ソフトウェア領域、2) 認識・情報メディア領域、3) 数理・データサイエンス領域、
- 4) 実世界情報領域、5) 知能情報領域

◇学位の取得および修了要件

●博士前期課程

本大学院に 2 年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ修士の学位論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、情報科学研究科委員会の議を経て修士（情報学）の学位が授与されます。ただし、優れた業績をあげた者の在学期間に関しては、本大学院当該博士前期課程に 1 年以上在学すれば足りるものとします。また、当該博士前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文に代えることができます。

情報科学研究科（博士前期課程）の教育は、授業科目の授業および学位論文の作成等に対する指導によって行います。学生は主たる専門領域を選択し、その分野に所属するいずれかの教員を指導教員として履修全般について指導を受けるものとします。

(1) 課程修了の要件 下表の要件を充足すること

授業科目	必修	a. 情報基礎領域「情報技術者と倫理」	1 単位	30 単位 以上
		b. 研究領域「情報科学研究」	6 単位	
	選択必修	c. 情報基礎領域（上記 a. を除く）	5 単位	
		d. 情報専門領域	10 単位	
	選択	e. 上記 a. b. c. d. で単位取得した科目を除く全ての科目	8 単位	
修士論文の審査			合格	
最終試験				
大学院に 2 年以上在学 (ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間は 1 年以上在学すれば足りるものとする。)				

(注) 記載の内容は 2026 年度のものです。

## (2) カリキュラムの特徴

- クォーター制の導入
- 大学院1年次に、「研究計画発表会」を開くなど、研究を進める体制を強化
- 大学院2年次に、「修士論文中間発表会」を実施
- 学内PBL/国際PBLでのリーダーシップ的参加、海外研究/派遣に対して単位を付与
- 教養科目として「情報科学特論」を開講
- 「情報技術者と倫理」を開講（2015年度から）
- 招聘教員等による特別講義（短期集中型）で単位を付与

## (3) 教育職員免許状の取得

博士前期課程に教職課程を設けており、教職課程（情報）の認定を受けた大学を卒業した者が本大学院において次の要件を満たせば、『情報』の高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

- ①博士前期課程を修了すること。
- ②出身大学等において高等学校教諭一種免許状（情報）を取得する要件を充足していること。
- ③出身大学等において「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」ならびに「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に相当する授業科目の単位を各区分から2単位以上修得していること。
- ④大学院において所属専攻の所定科目から最低24単位を修得すること。

## ●博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ、必要な指導のもとに研究業績をあげたうえで、博士論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、情報科学研究科委員会の議を経て博士（情報学）の学位が授与されます。ただし、優れた研究業績をあげた者の在学期間に関しては博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

課程修了の要件：下表の要件を充足すること。

特殊研究	12単位
博士論文の審査	合格
最終試験	
大学院に5年以上在学（博士前期課程修了者は、その在学期間2年を含む）	

（注）記載の内容は2026年度のものであります。

## ◇2027年度大学院研究指導担当教員一覧

課程	専修領域・特殊研究	教員氏名
博士前期課程	情報専門領域	荒木 英夫、井垣 宏、井上 裕美子、江口 翔一、大井 翔、奥野 弘嗣、尾崎 敦夫、越智 徹、尾花 将輝、貝原 俊也、櫻原 茂、鎌倉 良成、鎌倉 快之、河合 紀彦、河北 真宏、紀ノ定 保礼、木村 哲士、小島 英春、小谷 直樹、酒澤 茂之、坂平 文博、佐藤 尚宜、椎原 正次、島野 顕継、真貝 寿明、神納 貴生、ズオン クアン タン、杉川 智、鈴木 基之、須山 敬之、平 博順、中西 知嘉子、西口 敏司、橋本 涉、濱田 悦生、疋田 泰章、平嶋 洋一、福島 拓、福安 直樹、本田 澄、水谷 泰治、皆川 健多郎、宮本 俊幸、宮脇 健三郎、村木 祐太、森田 磨里絵、安留 誠吾、山田 隆亮、横川 美和
博士後期課程	情報システム・ソフトウェア領域	真貝 寿明、福安 直樹、宮本 俊幸、山田 隆亮
	認識・情報メディア領域	河北 真宏、鈴木 基之、平山 亮
	数理・データサイエンス領域	貝原 俊也、椎原 正次、濱田 悦生、安留 誠吾
	実世界情報領域	井上 裕美子、酒澤 茂之、西口 敏司
	知能情報領域	尾崎 敦夫、鎌倉 快之、鎌倉 良成、木村 哲士、中西 知嘉子

（注）上記の記載内容は2027年度予定のものでありますが、変更になる場合があります。

## 5. 知的財産研究科の概要

知的財産研究科専門職学位課程には、知的財産専攻を設けています。

専門職学位課程は、標準修業年限2年の課程で、イノベーションを支援するために必要な知的財産に関する知識・技能を備えるとともに、法律的素養、国際的な視野およびビジネス感覚をもった高度な専門職業人を養成します。また、職業や家事に従事しながら学修し易い環境を整備する目的で、入学から修了までの期間を長期（最長期間は4年）に設定して計画的に履修することができる「長期履修制度」を導入しています（詳細はP.25～26を参照）。

### ◇学位の取得および修了要件

2年以上在学のうえ所定の単位（下表）を修得した者に対しては、知的財産研究科委員会の議を経て、知的財産修士（専門職）の学位を授与します。

必修科目	選択科目
8単位 合否決定の審査に付される論文の作成を含む特別研究4単位を含みます。	44単位
計52単位以上	

（注）記載の内容は2026年度のものであります。

## 大学院の奨学金制度

本学独自の給付制奨学金をはじめ、日本学生支援奨学金（貸与制）等があります。

募集は、入学後に UNIVERSAL PASSPORT (UNIPA) を通じて行います。

### 【給付制】

#### 博士前期課程・専門職学位課程 対象

##### 1. 大学院社会人学生給付奨学金

選考対象	博士前期課程および専門職学位課程の全研究科・全学年
採用資格	本大学院の「社会人入試」に合格した在學生で、特に経済的理由により奨学金の給付が必要であると認められる者
年 額	30 万円 ※修業年限 2 年の場合。長期履修制度適用者は異なる。
給付期間	1 年間（再出願可）
給付方法	前期および後期に分けて給付
募集時期	2027 年 4 月
採用定員	5 人（最大）

##### 2. 大学院グローバル人材奨励給付奨学金

採用資格	本学の学内進学者および学内進学した在學生で、出願時に TOEIC スコア（オンライン実施分は対象外）が所定の得点（2026 年度は 550 点）を満たし、公式認定証やスコアレポートを提出できる者。但し、英語を母国語としていない者。※所定の得点は変更される場合があります。
年 額	20 万円
給付期間	1 年間（在学時 1 回限り）
給付方法	前期および後期に分けて給付
募集時期	2027 年 4 月
採用定員	採用資格を有する者

#### 博士後期課程 対象

##### 大学院博士後期課程給付奨学金

選考対象	全研究科・全学年
採用資格	在學生で、学業・人物ともに優秀で、特に経済的理由により奨学金の給付が必要であると認められる者
年 額	30 万円
給付期間	1 年間（再出願可）
給付方法	前期および後期に分けて給付
募集時期	2027 年 4 月
採用定員	7 人（最大）

【貸与制】

博士前期課程・専門職学位課程・博士後期課程 対象

日本学生支援機構奨学金 ※外国人留学生は除く

◆下記内容は 2026 年度現在のもので、変更になる場合があります。

貸与奨学金の種類		貸与金額	
		博士前期課程、専門職学位課程	博士後期課程
第一種奨学金 【無利子】		月額 5 万・8 万 8 千円から選択	月額 8 万・12 万 2 千円から 選択
後 払 い 制 度	授業料支援金 【無利子】	最大 77 万 6 千 円 (1 年間の額。この額を「支援対象授業料」と いい、大学が金額を決定します。)に、保証料相 当額を加えた額	—
	生活費奨学金 【無利子】	月額 0 円 (利用しない)、2 万円、4 万円から 選択	—
第二種奨学金 【有利子】		月額 5・8・10・13・15 万円から選択	

※募集時期 ①2026 年 9 月頃：入学予定者に対し、入学前に日本学生支援機構が募集・選考を行うものです。

②2027 年 4 月：入学後に募集・選考を行います。①で不採用となった場合もあらためて出願できます。

※貸与期間は標準修業年限までとなります。

※第一種奨学金と後払い制度は、いずれか一方のみ申し込むことができ、併用することはできません。

※後払い制度は、「生活費奨学金」のみの申込みはできません。支援対象授業料の額は、大学が課している授業料の状況（納付済みの授業料や授業料減免等）によって変動することがあります。授業料減免等の対象となる奨学金（予定）は、「大学院特待奨学金」、「大学院入学前予約採用型給付奨学金」、「大学院社会人学生給付奨学金」、「大学院グローバル人材奨励給付奨学金」、「テラサキ奨学金」です。

支援対象授業料は採用決定者（申込者本人）へ振込予定です。初回振込日は大学院への進学後となります。大学所定の授業料は期日までに大学に納付ください。

【その他】

その他の奨学金については、入学後に募集があればその都度、UNIVERSAL PASSPORT (UNIPA) でお知らせします。

【奨学金に関するお問い合わせ先】

- |   |                   |
|---|-------------------|
| (1) 工学研究科・知的財産研究科 学生部厚生課（大宮キャンパス）               | TEL. 06-6954-4069 |
| (2) ロボティクス&デザイン工学研究科 ロボティクス&デザイン工学部事務室（梅田キャンパス） | TEL. 06-6147-6830 |
| (3) 情報科学研究科 情報科学部事務室（枚方キャンパス）                   | TEL. 072-866-5301 |

## 長期履修制度 [知的財産研究科社会人のみ対象]

長期履修制度とは、働きながら（あるいは遠距離通学で）当大学院で学ぼうとする社会人の方々が、最長4年をかけて知的財産修士（専門職）の学位課程を修了することができるようにする制度です。いずれの長期履修コースを選択しても授業料は正規の2年分と同じです（ただし在籍年数に応じて教育充実費が加算されます）。

1. 選択できる長期履修コース  
3年または4年

2. 入学手続時納入金および在学中の学費等

長期履修コース（3年）

（単位：円）

項 目		1年次所要経費		2年次以降 所要経費（年額）
		入学手続時納入	10月納入	
学 費	入 学 金	200,000	—	—
	授 業 料	410,000	410,000	820,000
	教 育 充 実 費	60,000	60,000	120,000
	合 計	670,000	470,000	940,000

長期履修コース（4年）

（単位：円）

項 目		1年次所要経費		2年次以降 所要経費（年額）
		入学手続時納入	10月納入	
学 費	入 学 金	200,000	—	—
	授 業 料	307,500	307,500	615,000
	教 育 充 実 費	60,000	60,000	120,000
	合 計	567,500	367,500	735,000

- 【備考】
1. 消費税は課されません。
  2. 上記納入金のほかに、別途委託徴収金（P.16）が必要です。
  3. 本学園設置大学および大学院の卒業・修了（見込）者で出願時に「学費（入学金）減免願」を提出し、許可された場合は、入学金の半額が免除されます。
  4. 上記の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがあります。

3. 年間履修上限単位数

年限	年間履修上限単位数			
	1年目	2年目	3年目	4年目
3年	24単位	24単位	24単位	
4年	18単位	18単位	18単位	18単位

4. 申請手続き

長期履修学生を希望される方は次の書類を準備し、出願書類とともに本学入試部に郵送してください。

- (1) 長期履修学生申請書（入学願書掲載の本学入試情報サイトからダウンロード、プリントアウトしてください）
- (2) 長期履修が必要であることを証明する書類（在職証明書など）

※申請には教員との事前相談が必要です。事前相談を経て、教員により申請を認められた方のみ申請することができます。事前相談を希望される方は知的財産研究科事務室にお問い合わせください。

5. 申請期間

出願期間中

6. 許可発表

許可者に対して、合格通知書類に長期履修許可書を同封して送付します。（出願期間が10月以降となる入試については、web上での通知となります。）

## 7. その他

長期履修制度を利用して修了された方は、教育訓練給付制度の給付対象となりません。

教育訓練給付制度とは…

働く方の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給されるものです。  
(厚生労働省のホームページより引用)

長期履修制度に関するお問い合わせ先

知的財産研究科事務室 TEL. 06-6954-4163

## 2027年度入試成績の開示について

受験結果が「不合格」の者が入試成績の開示を希望する者は、次の要領により受験者本人（法定代理人可）が開示請求手続きを行ってください。なお、電話・Eメールでの請求には一切応じられません。

### 1. 開示請求期間

2027年4月5日（月）～4月16日（金）10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

### 2. 開示時期・方法

2027年5月末ごろ、請求者本人に入試成績通知書を交付します。

開示方法については、2027年4月に入試情報サイトにてお知らせします。

入試情報サイト URL : <https://www.oit.ac.jp/admission/>

## 大学が取得する個人情報の保護について

### (1) 大学が取得する個人情報の利用目的

入試実施のため取得する個人情報については、当該入試実施、入学までに必要な諸案内、学生福利厚生組織である(株)常翔ウエルフェアからの諸案内、学園情報の諸案内、各種統計資料作成のための個人を特定しない集計処理等に利用します。

### (2) 第三者への提供

法令に定める場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ることなく、第三者に個人情報を提供することはありません。

### (3) 個人情報保護方針

学校法人常翔学園が定める個人情報保護方針および本学が保有している個人情報の取扱いの詳細については、本学 Web サイト (<https://www.oit.ac.jp/oit/policy/>) で確認してください。

## お問い合わせ先

本入試に関するお問い合わせは下記にて受け付けています。

入試部 〒535-8585 大阪市旭区大宮 5-16-1

TEL. 06-6954-4086 MAIL. OIT.Nyushi@josho.ac.jp

# <大学院入試専用>

【注意事項】

1. 本紙の印刷はカラー印刷をしてください(簡易書留速達郵便で送付するため)。
2. 必ず郵便局の窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。
3. この宛名ラベルは大学院入試以外では使用できません。

キリトリ

**速 達**

5 3 5 - 8 5 8 5

簡易書留  
速 達

大阪市旭区大宮 5 - 1 6 - 1

**大阪工業大学 入試部 宛**

**簡易書留速達**

大 学 院  
出 願 書 類 在 中

差  
出  
人

□□□ - □□□□□

住 所

氏 名

キリトリ